

Q 国による緊急対策（肥料価格高騰対策）が措置されたものの、農家を取り巻く環境は依然、厳しい状況であり、自治体が地方創生臨時交付金を活用し独自に農家支援を行う事例も見受けられる。政府は地方創生臨時交付金の増額を検討しているとのことであるが、今後、同交付金が増額された場合の当町の活用の考え方を伺いたい。

A 今後の地方創生臨時交付金に関しては、情報収集を行いつつ、先進事例や県内市町村の動向を鑑み、農業経営の影響緩和について、今後検討して参りたい。ただし、1事業者だけではなく、影響を受けるすべての業種を対象に必要な支援を行えるようにしたい。その間の緊急対策として、「さかエール!!Pay」を商工業者および農業事業者を対象に、上限20万円（プレミアム率25%）を販売したい。

（春先の肥料・資材高騰等の懸念もあるとの再質問に対し）当町は、ふるさと納税が好調であるため、こういった臨時交付金がなくとも、議会と相談し、町民の皆さん全員がふるさと納税の恩恵を受けられるような支援を行い、境町に住んでよかった、境町だったか

ら支援を受けられたという好循環を作って参りたい。
（町長・建設農政部長）

議席1番

佐怒賀 康輔 議員



姉妹都市等との今後の取組について

Q ホノルル市、マリキナ市、アルゼンチン共和国との今後の交流についてどのような予定をしているのか。

A ホノルル市とはビジネス面においても物産品のやりとり等を検討の他、境町ウィークの再開、ホームステイ交流事業などを予定している。

マリキナ市には消防車、救急車を寄贈したが、今後も災害に対す

るサポートを行うと共に、ALTの先生以外にも雇用面で両者のメリットになるような取り組みも検討したい。

アルゼンチン共和国とは文化交流、スポーツ交流に加えて、自治体と国との交流ではなく自治体同士での交流ができないかを検討。

（町長・秘書公室長・企画部長・危機管理部長）

さかエール!!Payについて

Q 現在の販売額及び今後の展開についてどのような考えか。

A 現時点で約5千万円分を販売済みであり、当初の見立て通り販売額は1億円程度に着地する予想。今回はマイナンバーとの紐付けもあり町民限定での販売となったが、今後は需要などを加味しつつ外部からの訪問客向けにも販路を広げていくことを検討中。

（町長・秘書公室長）

議席3番

枝 史子 議員



「5歳児健診等」について

Q 3歳児健診から就学時健診までの空白期間を埋める「5歳児健診」が、全国的に広まっている。この5歳児健診により、定期的な健康観察ができる他、いわゆる発達障害の早期発見が期待されることから、この健診の実施は、子どもたちの健やかな育ちにつながると思える。境町では実施されていないが、これについて町の見解を問う。

A 現在、5歳児健診を県内で実施しているのは3自治体。他に、5歳児相談会や訪問相談等を実施しているところは4自治体である。